

# 【プログラム6:連想ゲーム～考えを広げて～】

☆ねらい：言葉を手がかりにイメージを広げ、それを出し合うことによって、イメージの多様性や個性の豊かさに気づく。

キーワードの例	イメージの多様性
時間	5分
人数	何人でもできる。
活動形態	全体（グループごとでもできる）
準備物	なし
主な活動	①進行役の言葉からイメージする「情景」を思い浮かべる。 ②イメージしたことを出し合う。
気を付けること	○言葉を手がかりにイメージする情景等は人によって様々であるということを参加者に伝え、プログラムを進めるようにするとともに、ねらいが深まるように、日頃の生活の振り返りを大事にする。
方法	<p>1 進行役の言葉からイメージする「情景」を思い浮かべる。 ・参加者は目を閉じる。 ・進行役が言葉を言う。</p> <p>例： ①「ここは広いところで、気分もさわやかです。」 ②「大きく背伸びをしているとき、ふと近くに誰かがいることに気がつきました。」 ④「どんな人がいると想像しましたか。あなたとその人はどんな会話をするでしょう。」</p> <p>2 進行役の言葉を最後まで聞いた後、イメージしたことを出し合う。 3 振り返りを行う。 4 まとめを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>一つの言葉からもいろいろなことをイメージすることができる。話をしている、お互いの多様な考え・想像力に触れると、楽しいことであると同時に、言葉数が少なすぎると伝えたいことが正確に伝わらないこともあるのではないだろうか。 親子でも、一つの言葉からイメージするものは多様なので、「これ（この言葉）でわかるだろう」と思い込むのではなく、伝えたいことは、はっきり伝えることが大事だ。</p> </div>
備考 (アレンジ等)	○ヒントとなる言葉から連想するものを、動物や日用品等に変えることもできる。
他プログラムとの関連	ステップ（中高生期）編：No 5箱の中は？～正確に伝えよう～ スマイル（小学生期）編：No 7だれだろう？何だろう？

